

土佐塾 逆転負け

全国高校ラグビー 青森北に22-26

第96回全国高校ラグビー大会第2日は28日、東大阪市花園ラグビー場で1回戦の残り1試合を行

▽1回戦

青森北 26(5-12) 22 土佐塾

土佐塾 20010 21012

TGP前 TGP後

青森北 1005 33021

26計22

い、土佐塾は青森北に22-26で惜敗した。土佐塾は開始10分、F B片岡が60分を独走して先制。さらに18分に竹嶋がトライを決めるなど、10-15とリードして前半を終えた。後半も6分に吉松、15分に新階がトライを決めたが、22-19の

残り3分から逆転トライを奪われるなど3トライを喫した。

ほかでは、茗溪学園(茨城)が31大会連続出場の大分舞鶴に20-17で競り勝ち2回戦に進出。64大会ぶり出場の山口は富山第一を24-15で破り、1994年に山口中

として出場した第27回大会以来となる勝利を挙げた。

日本航空石川は初出場の玉島(岡山)に93-5で快勝。35大会連続出場の佐賀工、前々回4強の尾道(広島)のほか、青森北、仙台青英(宮城)第1、や東福岡などシード勢が登場する。

▽HB 西田小野
津水永上山松沼階井賀市嶋岡
米清松川皇吉瀬新中須武竹片

【土佐塾】 W T B F B
【青森北】 F

坂沢瑞樹 藤原田村田
藤木 々々
逢田川 佐八須佐佐小杉大木松
▽HB 佐井 松尾

▽交代【青】山内(佐藤聖) 柏谷
木村(石田) 川端【土】 浜口
(須賀) 山本(松永)

(静岡) 朝明(三重) 松山聖陵(愛媛) も2回戦に進出した。

30日の2回戦では前回王者の東海大仰星(大阪)第1、や東福岡などシード勢が登場する。



【土佐塾-青森北】前半18分、土佐塾・竹嶋がトライを決め10-0。応援席も沸く(東大阪市花園ラグビー場 佐藤邦昭撮影)

名前負けせず、あと一步 トライ数は同じ

あと4点の差がわずかなのか、大きいかは分からない。それでも、肌を刺すような冷たい風が吹き付ける中、北国青森から来たチームより、南国土佐の選手たちの方がずっと元氣に見えた。

「トトライ差くらいで追って後半勝負」のつもりだった。リードして前半を終えるというのは、選手らも全く想定していなかったという。60分独走で先制トライを決め、観客席をどよめかせたF B片岡は「みんなで前に出た結果」と、チーム全員の頑張りを強調した。

「昨年と昨年は、前半だけで決定的なリードを奪われ、後半は「一矢報いる」だけ。最初の10分間を特に集中」が今年のテーマだった。

その通りの展開にできたのは、全国選抜大会初出場や、これも初めての国体四国予選突破など、チームに経験が蓄積されていたのが大きい。主将のナンバー8新階は「去年までは『名前負け』のようなものがあったが、今年はなかった。やってきたことを全部出せた」と胸を張った。

終盤、警戒していた相手F W陣に押し込まれた。動きを止めようとしての反則でボールを失う繰り返しから、残り3分で逆転トライを奪われてしまった。最後の何分かが逃げ切れない。あとちょっと。でも、そのちょっとが大きい」と西村監督。悔しいんじや、ないんですけど…」と声を詰まらせ、しばらく言葉が出なかった。

かつては「高知対青森」なら大敗は必至だった。この日、トライ数は相手と同じ4。新階は先発メンバーのうち8人を占める1、2年生に「来年勝って」と夢を託した。勝利まであと一步。それは間違いのない。

(井上太郎)